

# 十和田市事務事業評価シート

## 【事務事業の概要】

整理番号	②-50	実施計画番号	63	事業開始年度	昭和59年度
事務事業名	市民文化活動への支援			事業終了年度	
担当課名	スポーツ・生涯学習課			事務の種類(選択)	自治事務
根拠法令等	関連事務事業				
背景や経緯等	文化団体への積極的支援を通して、市民との協働による市民文化祭を開催し、多くの人々が芸術文化に触れる機会を設ける。				
事務事業の目的	豊かで潤いのある暮らしを実現するため、芸術文化活動への支援を行うことにより文化の向上及び活性化を図る。				
実施状況	文化祭実行委員会と連携し、市民文化祭を開催している。各活動振興補助金として、文化祭実行委員会に312千円、文化協会に200千円を補助している。(民俗芸能協会76千円については、27年度から補助廃止。)				

## 【人件費の推移】

		26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
正職員	従事者数(人)	1	1	1
	活動日数(日)	8	7	7
	人件費(千円)	288	252	252
正職員以外(選択↓)	従事者数(人)			
	活動日数(日)			
	人件費(千円)			

## 【事業費の推移】

	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
事業費合計(千円)	588	512	512

## 【指標】

活動指標	活動指標名①	市民文化祭開催日数				
	計算式等	単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定	
		回	3	4	2	
	活動指標名②	文化協会発行の広報誌「北の灯」発行				
	計算式等	単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定	
		回	3	3		
成果指標	成果指標名①	市民文化祭出展者、出演者、参観者の計				
	計算式等	単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定	
		人	目標値	6,000	6,000	6,000
			実績値	4,578	4,605	
			達成度(%)	76%	77%	
	成果指標名②					
	計算式等	単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定	
			目標値			
	実績値					
	達成度(%)					

# 十和田市事務事業評価シート

## 【担当課による検証】

ポイント		検証(選択)	評価	点数	合計	検証の理由				
<b>妥当性</b>	① <b>市民ニーズ等から見る妥当性</b> 市民ニーズや時代潮流の変化により、事務事業の役割が薄れていないか	A 薄れていない B 幾分薄れている C 薄れている	A	2	4	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;"><b>存在意義の見直しの余地</b></td> <td style="text-align: center;"><b>0 / 4</b></td> </tr> <tr> <td colspan="2">文化協会は、官庁街通りの石彫板の補修と広報誌の発行を主たる事業としており市の文化発信において欠かせない存在である。また、市民文化祭は、市民の文化芸術活動の観賞や発表の機会として欠かせない事業であり、市が積極的に支援する必要がある。文化団体が継続して活動を維持していくためには当面補助金の交付も必要である。</td> </tr> </table>	<b>存在意義の見直しの余地</b>	<b>0 / 4</b>	文化協会は、官庁街通りの石彫板の補修と広報誌の発行を主たる事業としており市の文化発信において欠かせない存在である。また、市民文化祭は、市民の文化芸術活動の観賞や発表の機会として欠かせない事業であり、市が積極的に支援する必要がある。文化団体が継続して活動を維持していくためには当面補助金の交付も必要である。	
	<b>存在意義の見直しの余地</b>	<b>0 / 4</b>								
文化協会は、官庁街通りの石彫板の補修と広報誌の発行を主たる事業としており市の文化発信において欠かせない存在である。また、市民文化祭は、市民の文化芸術活動の観賞や発表の機会として欠かせない事業であり、市が積極的に支援する必要がある。文化団体が継続して活動を維持していくためには当面補助金の交付も必要である。										
② <b>実施主体である妥当性</b> 行政が実施することが妥当か(民間と競合していないか)	A 妥当である B あまり妥当ではない C 妥当ではない	A	2							
<b>有効性</b>	③ <b>活動指標から見る有効性</b> 活動指標の実績は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A	2	5	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;"><b>成果向上の余地</b></td> <td style="text-align: center;"><b>1 / 6</b></td> </tr> <tr> <td colspan="2">文化協会は加盟団体の減少や高齢化が進む中、市の文化団体の取りまとめ役として確実に機能している。また、現実的には文化協会と文化祭実行委員会の役員が兼務する形で文化祭を円滑に進めている。ただし、市民文化祭の日程・会場案内等は、広く市民にその内容を周知する活動方法について見直す必要がある。</td> </tr> </table>	<b>成果向上の余地</b>	<b>1 / 6</b>	文化協会は加盟団体の減少や高齢化が進む中、市の文化団体の取りまとめ役として確実に機能している。また、現実的には文化協会と文化祭実行委員会の役員が兼務する形で文化祭を円滑に進めている。ただし、市民文化祭の日程・会場案内等は、広く市民にその内容を周知する活動方法について見直す必要がある。	
	<b>成果向上の余地</b>	<b>1 / 6</b>								
	文化協会は加盟団体の減少や高齢化が進む中、市の文化団体の取りまとめ役として確実に機能している。また、現実的には文化協会と文化祭実行委員会の役員が兼務する形で文化祭を円滑に進めている。ただし、市民文化祭の日程・会場案内等は、広く市民にその内容を周知する活動方法について見直す必要がある。									
④ <b>成果指標から見る有効性</b> 成果指標の目標達成状況は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A	2							
⑤ <b>事務事業の見直しの余地</b> 成果を向上・安定させるため、事務事業の見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	B	1							
<b>効率性</b>	⑥ <b>事業費の削減の余地</b> 事務手順の見直しや正職員以外での対応により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2	6	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;"><b>コスト削減の余地</b></td> <td style="text-align: center;"><b>0 / 6</b></td> </tr> <tr> <td colspan="2">文化協会における市職員の役割は補助金運用についての助言にとどまっている。また、市民文化祭は実行委員会を設置し運営しており、効率化を図っている。</td> </tr> </table>	<b>コスト削減の余地</b>	<b>0 / 6</b>	文化協会における市職員の役割は補助金運用についての助言にとどまっている。また、市民文化祭は実行委員会を設置し運営しており、効率化を図っている。	
	<b>コスト削減の余地</b>	<b>0 / 6</b>								
	文化協会における市職員の役割は補助金運用についての助言にとどまっている。また、市民文化祭は実行委員会を設置し運営しており、効率化を図っている。									
⑦ <b>他の事務事業との統合・連携</b> 類似又は関連事業との統合・連携により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2							
⑧ <b>民間委託等</b> 民間委託・指定管理者・PFI等により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	★	2							
<b>公平性</b>	⑨ <b>受益の偏り</b> 現在の受益は公平か。特定の個人・団体に受益が偏っていないか	A 偏っていない B 多少偏っている C 偏っている	A	2	4	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;"><b>受益者負担適正化の余地</b></td> <td style="text-align: center;"><b>0 / 4</b></td> </tr> <tr> <td colspan="2">文化協会においては11個人・47サークル、1,350人(27年4月1日現在)が所属しており、市内の大方の文化団体が加盟している。また、市民文化祭は広く市民に観賞機会の機会や、発表の場を提供しており、公平性は保たれている。</td> </tr> </table>	<b>受益者負担適正化の余地</b>	<b>0 / 4</b>	文化協会においては11個人・47サークル、1,350人(27年4月1日現在)が所属しており、市内の大方の文化団体が加盟している。また、市民文化祭は広く市民に観賞機会の機会や、発表の場を提供しており、公平性は保たれている。	
	<b>受益者負担適正化の余地</b>	<b>0 / 4</b>								
文化協会においては11個人・47サークル、1,350人(27年4月1日現在)が所属しており、市内の大方の文化団体が加盟している。また、市民文化祭は広く市民に観賞機会の機会や、発表の場を提供しており、公平性は保たれている。										
⑩ <b>受益者負担の見直しの余地</b> 現在の受益者負担は適切か。見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A	2							
<b>現在の適性</b>					<b>19 / 20</b>	<b>改善の余地</b>	<b>1 / 20</b>			

## 【点数化による検証】

当該事業の現在の適性は20点中 **19** 点です。

当該事業の改善の余地は20点中 **1** 点です。

## 【担当課長による評価】

当該事業の今後の方向性(選択) ※事業終了年度がH27の場合は回答不要

**現状のまま継続**

### 方向性の理由 ※事業終了年度がH27の場合は回答不要

文化芸術に対する理解や関心が高まってきており、鑑賞・参加・創造することができる環境づくりのための文化芸術活動への支援は、予算の範囲内で現状のまま継続したい。

### 今後の具体的な取組方策と狙う効果 ※事業終了年度がH27の場合は、『事業を実施したことにより今後見込まれる効果』を記載してください。

市民文化センター、各公民館を中心に、市民の文化活動への参加、鑑賞の機会の増加を図りたい。